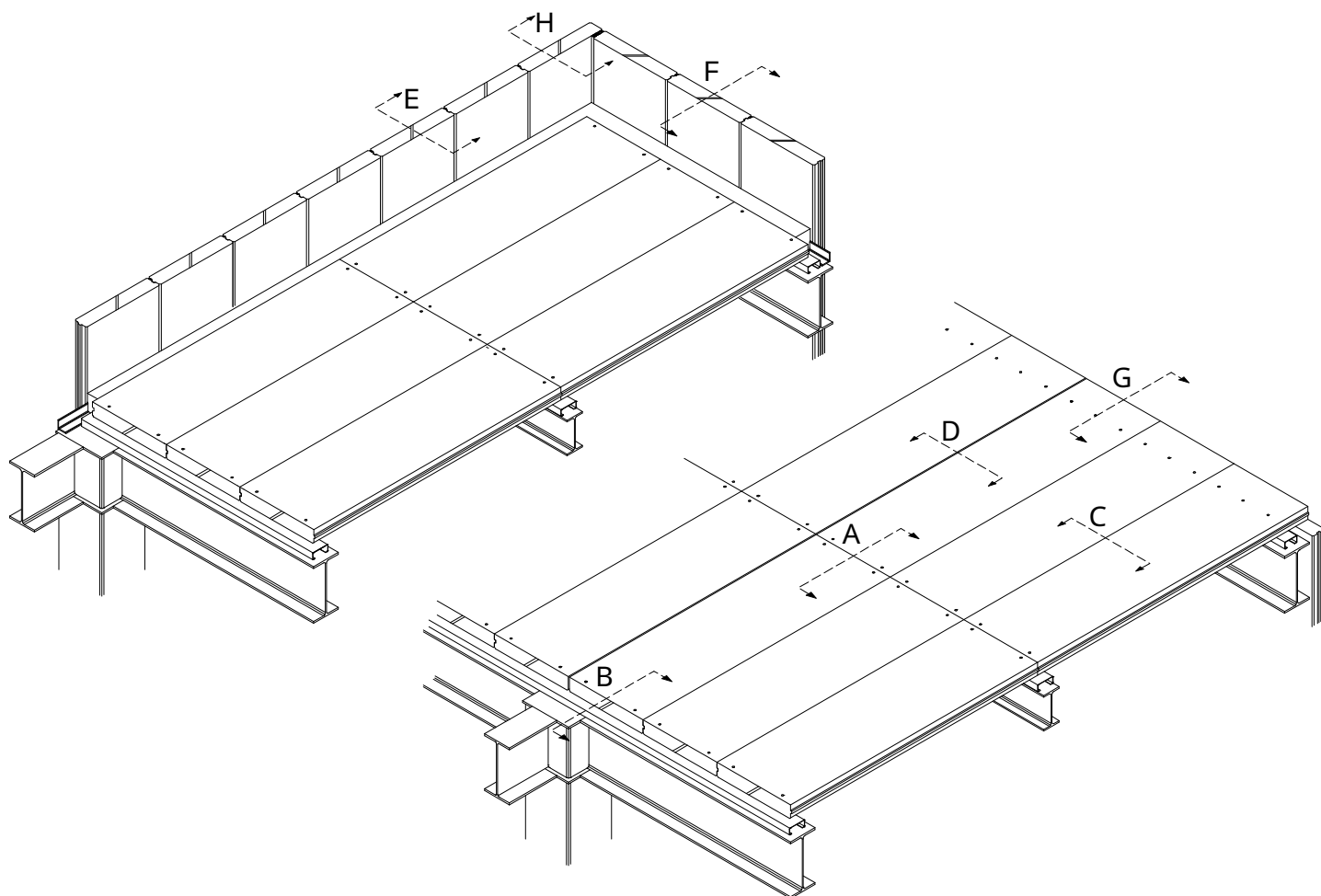


屋根 H D S 構法

標準構法のキープラン



取付け金具はヘーベルテクニカルハンドブックをご参照ください

H D S 構法特記および注（詳しくはヘーベルテクニカルハンドブックをご参照ください）

特1：標準構法図中の色文字は別途工事を示す

特2：H D S 構法は、閉鎖型建物の勾配が 10° ($1.76 / 10$) 未満の非歩行屋根に適用する。適用範囲以外の屋根については、別途ご相談ください

特3： $2.5 / 10$ 以上の勾配屋根は、軒先とパネル5～8枚ごとに、パネル両端を受けるアングルなどの滑り止め金具を支持梁に設ける

注1：パネルのかかり代は50mm以上かつパネル長さの $1/75$ 以上とする

注2：パネル短辺目地部には、標準として、パネル2枚毎に幅10mm以上の伸縮目地を設ける

注3：パネル長辺目地部には、必要に応じて躯体の通り芯（大梁の芯）に伸縮目地を設ける

注4：絶縁材：外壁の動きを考慮する場合必要

注5：耐火目地材：耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てんする